令和5年度（2023年度）

進路説明会

吹田市立青山台中学校

令和5年6月15日

中学卒業後は・・・・　（多様な進路）

「進路の手びき」
３年・・・P.2～
１・２年・・・P.1

- 高等学校（高校）
- 高等専門学校（高専）【5年】
- 高等専修学校（1年～3年）
  （通信制高校と連携もあり。高卒資格を得るには3年が必要。）
- 支援学校　高等部
- 高等職業技術専門校（ぎせんこう）（６か月～２年）
- 就　職　（ハローワークを通して、または縁故関係で。）

※高等学校の話の前に、その他の進路について。

高等専門学校（高専）

短大卒と同程度の専門的な知識と実用的な技術を身に着けることができます。

大阪府立大学工業高等専門学校

国立
- 和歌山工業高等専門学校
- 奈良工業高等専門学校
- 明石工業高等専門学校　など

５年で卒業→卒業後は就職 or 大学へ編入

高等専修学校

職業や実際生活に必要な力を育成し、教養の向上を図ります。

関西テレビ電気専門学校

大阪情報コンピュータ専門学校

東朋高等専修学校　　など

技能連携校（専修学校の科目が高校卒業科目に認定される学校）であれば、通信制の高校と連携して高校卒業資格を取ることも可能です。

特別支援学校高等部

「進路の手びき」
３年・・・P.4

障害による学習上、または生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識・技能を授けることを目的にした学校。

大阪府立摂津支援学校

大阪府立とりかい高等支援学校

大阪府立たまがわ高等支援学校　など

入学を希望される場合は、二学期の三者懇談で決定する必要があります。

その他の支援系の学校

- 共生推進教室設置校　千里青雲高等学校　など

↕ **連携し、高校と支援学校両方で学ぶ**

- 共生推進校　とりかい高等支援学校　など

公立の
支援学校

- 自立支援推進校

柴島高等学校(総合学科)
阿武野高等学校(普通科)
園芸高等学校(農業に関する学科)　など

公立の
高等学校

公立高校の定員割れについて

・公立高校は、定数（募集人員）に対して合格者が決まります。したがって、定員割れ（志願者が募集人員より少ない）している高校は、合格率が１００％です。

・これは、たとえば障害があるためにテストの点数があまり取れないような生徒でも、中学校の友達と一緒に学びたい、という希望を叶えるためでもあります。勉強が苦手でも、公立高校に進学できる可能性はあります。

公立高校の定員割れについて

・ただし、どの高校が定員割れになるかは、志願状況を見てみないとわかりません。その前の年は定員割れしていた高校でも、出願してみると定員割れになっていなかったというケースもあります。

・したがって、希望する高校が定員割れするかどうかは、その動向をしっかりと注視しなければなりません。

就　職

　ハローワークを通して就職することを「紹介就職」と言いますが、「紹介就職」による就職は、ほとんどいません。

縁故就職がほとんどで
就職率は、府内でここ数年0.2％程度。

　それでは、例年多くの生徒が進学する「高等学校」について、具体的なお話をさせて頂きます。

高等学校 は、

大きく2種類に分類されます。

公立高校

私立高校

私立高校について

① 学区制はありません
（全国どこの私学でも受験可能）

② 学校の種類
男子校・女子校・共学校がある
様々な科、コースがある。

スポーツや中学校での成績などに応じて、特待生の制度もある。
（入学金免除・授業料実質無料など）

※詳細は「大阪　高校　特待生」で検索

③ 入試日：大阪　※奈良・和歌山などは大阪よりも早い

今年度…2024年2月10日(土)

●私立高校の受験の仕方

「進路の手びき」
3年・・・P.10～
1・2年・・・P.2

①専願・・・「私立高校を第一志望として、**合格したら必ず入学する**」という受け方。

専願で合格した場合、他の私立や公立は受験できません。

「専願」は、入試で優遇され、
合格点は併願に比べて低い。
絶対行きたい私立がある人向け。

●私立高校の受験の仕方

「進路の手びき」
3年・・・P.10～
1・2年・・・P.2

②併願・・・「公立高校を第一志望として、
私立高校も受験する」受け方。

公立高校に行きたいけど、いわゆる
すべり止めも受けておきたい人向け。

例年、最も多くの生徒が
この受け方をしています。

●私立高校の合否の決定方法

・私立高校は、各学校が定める「合格基準」を満たしているかどうかで合否の決定を行います。

・また、複数の学科がある学校では、転科合格（回し合格）という制度を認めている学校が多いです。（公立でも、箕面高校や千里高校など複数の学科がある学校は、転科合格があります。）

※転科合格・・・複数の学科で合否を判定する制度

例）光が丘高等学校

Aさんの場合

合格点	コース
380点 ①	特進SSコース
350点 ②	特進Sコース
300点 ③	普通コース

転科

転科

当日の得点
310点

第1希望

特進SSコース

転科合格希望 ☑

例）光が丘高等学校

合格点	コース
380点	特進SSコース
350点 ①	特進コース
300点	普通コース

Bさんの場合

当日の得点
400点

第1希望
特進コース

転科合格希望 ☑

●高等学校の区分（もう少し詳しい分類）

◆設置者・・・ 国、大阪府、堺市など（公立）
学校法人（私立）

◆課　程
・・・ ①全日（ぜんにち）制、②定時制、③通信制

◆学　科
・・・ ①普通科、②専門学科、③総合学科

●高等学校の課程について

「進路の手びき」
3年・・・P.3～

①全日制（ぜんにち）・・・平日の昼間に授業を行います。

②定時制・・・主に夜間に授業を行います。

1、多部制単位制Ⅰ部・Ⅱ部（大阪わかば高校）

2、昼夜間単位制（中央高校）

3、定時制（桜塚高校、春日丘高校など）

③通信制・・・主に通信添削により行います。

※年に数回、学校に行ってテストを受けます。

●公立高校の学科の種類

「進路の手びき」
３年・・・P.７～

① 普通科・・・普通教科を幅広く学ぶ。

◇近隣にある主な普通科の高校（順不同）
北千里、山田、池田、桜塚、刀根山、
箕面、豊島（てしま）、吹田、春日丘、茨木西など

グローバル科もあります。

★ 普通科単位制・・・選択科目が多い。自分に合った学習ペースで学べる。

◇単位制高校について

・学年制がありません。1年生はこの授業、とかではなく、自分で授業を選ぶ形式の学校です。

→普通科単位制…槻の木高校、市岡高校など。

（定時制の単位制高校もあります。中央高校など。）

② 専門学科・・・専門分野を学ぶ。また、難関大学や資格取得を目指すものもある。

◇主な専門学科の高校（順不同）

・文理学科…北野、茨木、豊中など
・グローバル科…箕面など
・農業に関する学科…園芸など
・工業に関する学科…都島工業など

③ 総合学科・・・選択科目が多く、普通科目も専門科目も自分で選択して学べる。

※総合学科の必須科目「産業社会と人間」では、体験学習などを通じて、将来の進路を考えるための学習に取り組みます。

◇主な総合学科の高校（順不同）

柴島（くにじま）、千里青雲など

★ エンパワメントスクール（総合学科）

・30分×国数英の3教科（モジュール授業）で、学び直しをはかる。

・習熟度別、進路希望別の授業

・企業などと連携し、進路実現を図る。

◇主なエンパワメントスクール（順不同）

箕面東、淀川清流など

●公立高校入試の種類

① 特別選抜 入試（特別入学者選抜）

実技試験を伴う学科やエンパワメントスクールなど、特別な高校の入学試験。

◇**特別選抜の高校**（順不同）

・インテリアデザイン科
　建築デザイン科など　…工芸高校

・音楽科……夕陽丘高校

・体育科……摂津高校など

・エンパワメントスクール…箕面東など

・昼夜間単位制……中央高校

●公立高校入試の種類

「進路の手びき」
3年・・・P.17～
1・2年・・・P.5～

① 特別選抜 入試（特別入学者選抜）

実技試験を伴う学科やエンパワメントスクールなど、特別な高校の入学試験。

② 一般選抜入試（一般入学者選抜）

普通科・文理学科など、ほとんどの学科、高校の入学試験。

公立高校　特別・一般選抜の日程

「進路の手びき」
3年・・・P.17、21
1・2年・・・P.5、7

特別選抜（２月）

出願
２月14日(水)・15日(木)
音楽科：2月6日(火)・7日(水)

学力検査等
２月20日(火)・21日(水)
（音楽科は、2月17日(土)・20日(火)に学力検査・実技検査を実施）

合格者発表
２月29日(木)

一般選抜（３月）

出願
３月４日(月)・５日(火)・６日(水)

学力検査
３月１１日(月)

合格者発表
３月１９日(火)

「進路の手びき」
3年・・・P.24
1・2年・・・P.9

●公立入試の問題の種類等

※一般選抜は、全て90点満点（5教科450点満点）。

※特別選抜は、全て45点満点（5教科255点満点）。

◆ 理・社 については、どの公立高校でも共通の問題です。（時間は、一般選抜も特別選抜も40分）

◆ 英・数・国 は、A問題、B問題、C問題のいずれかになります。（特別選抜の場合は、C問題はなく、A問題、B問題の2種類です。）

問題のタイプによる違い

【国語】

A問題:「基礎的問題」(一般:50分、特別:40分)

B問題:「標準的問題」(一般:50分、特別:40分)

C問題:「発展的問題」(一般:50分)

難易度の差があります。

問題のタイプによる違い

【数学】

A問題:「基礎的問題」(一般:50分、特別:40分)

B問題:「標準的問題」(一般:50分、特別:40分)

C問題:「発展的問題」(一般:**60分**)

C問題は、時間が60分になりますが、時間の余裕はありません。

問題のタイプによる違い

【英語】

A問題：「基礎的問題」（一般・特別とも、筆記40分:リス15分）

B問題：「標準的問題」（一般・特別とも、筆記40分:リス15分）

C問題：「発展的問題」（筆記**30分**:リス**25分**）

＋問題文や指示文もすべて英語

C問題はリスニングの比重が大きくなります。

公立　問題の種類と倍率のタイプ（昨年度）

高校名	国	数	英	倍率	高校名	国	数	英	倍率
北野	C	C	C	Ⅰ	渋谷	B	B	B	Ⅱ
大手前	C	C	C	Ⅰ	豊島	B	B	B	Ⅱ
豊中	C	C	C	Ⅰ	東淀川	B	B	B	Ⅱ
茨木	C	C	C	Ⅰ	摂津	B	B	B	Ⅱ
千里	C	C	C	Ⅰ	北摂つばさ	B	B	B	Ⅱ
春日丘	C	C	C	Ⅰ	槻の木	B	B	B	Ⅱ
池田	C	B	C	Ⅰ	都島工業	B	B	B	Ⅲ
三島	C	B	B	Ⅰ	茨木工科	A	A	A	Ⅲ
桜塚	B	B	B	Ⅰ	園芸	B	A	A	Ⅳ
刀根山	B	B	B	Ⅰ	千里青雲	B	B	B	Ⅰ
箕面	B	B	B	Ⅰ	柴島	B	B	B	Ⅲ
山田	B	B	B	Ⅰ	福井	B	A	A	Ⅳ
北千里	B	B	B	Ⅱ	工芸	B	B	B	Ⅱ
吹田	B	B	B	Ⅱ	箕面東	A	A	A	Ⅲ
吹田東	B	B	B	Ⅱ	淀川清流	A	A	A	Ⅲ
茨木西	B	B	B	Ⅱ	摂津（体育）	B	B	B	Ⅲ

特別選抜

●公立高校「学力検査の成績、および調査書の評定にかける倍率のタイプ」

・公立高校では、学力検査（当日のテスト）と調査書（通知表の5段階評価・いわゆる内申点）の総合点で合否が決まります。

特別選抜〈基本的な計算方法〉

- 学力検査　（225点満点）

  5教科×45点満点

- 調査書　（225点満点）

  1年評定：9教科×5点満点＝45点満点

  2年評定：9教科×5点満点＝45点満点

  3年評定：9教科×5点満点×3倍＝135点満点

450点満点

一般選抜〈基本的な計算方法〉

「進路の手びき」
3年・・・P.25
1・2年・・・P.10

- 学力検査　（450点満点）
  5教科×90点満点

- 調査書　（450点満点）
  1年評定：9教科×5点満点×2倍＝90点満点
  2年評定：9教科×5点満点×2倍＝90点満点
  3年評定：9教科×5点満点×6倍＝270点満点

900点満点

「進路の手びき」
3年・・・P.25
1・2年・・・P.10

- 基本的な計算の仕方は以上の通りですが、各学校は「倍率のタイプ」を選択しています。

- 実際の計算はこの「倍率のタイプ」に従って行われます。→〈Step１〉総合点を算出する。

- タイプはⅠ～Ⅴまであります。

特別選抜

学力検査と評定にかける倍率の型

225点 ＋ 225点 ＝ 450点

タイプ	学力検査にかける倍率		調査書の評定にかける倍率	学力検査：調査書
Ⅰ	1.4倍（315点）	＋	0.6倍（135点）	7：3
Ⅱ	1.2倍（270点）	＋	0.8倍（180点）	6：4
Ⅲ	1.0倍（225点）	＋	1.0倍（225点）	5：5
Ⅳ	0.8倍（180点）	＋	1.2倍（270点）	4：6
Ⅴ	0.6倍（135点）	＋	1.4倍（315点）	3：7

一般選抜

学力検査と評定にかける倍率の型

450点 ＋ 450点 ＝ 900点

タイプ	学力検査にかける倍率		調査書の評定にかける倍率	学力検査：調査書
Ⅰ	1.4倍（630点）	＋	0.6倍（270点）	7：3
Ⅱ	1.2倍（540点）	＋	0.8倍（360点）	6：4
Ⅲ	1.0倍（450点）	＋	1.0倍（450点）	5：5
Ⅳ				
Ⅴ				

学力検査重視

調査書重視

このタイプに照らして算出されたものが
総合点 となる。

公立　問題の種類と倍率のタイプ（昨年度）

高校名	国	数	英	倍率	高校名	国	数	英	倍率
北野	C	C	C	Ⅰ	渋谷	B	B	B	Ⅱ
大手前	C	C	C	Ⅰ	豊島	B	B	B	Ⅱ
豊中	C	C	C	Ⅰ	東淀川	B	B	B	Ⅱ
茨木	C	C	C	Ⅰ	摂津	B	B	B	Ⅱ
千里	C	C	C	Ⅰ	北摂つばさ	B	B	B	Ⅱ
春日丘	C	C	C	Ⅰ	槻の木	B	B	B	Ⅱ
池田	C	B	C	Ⅰ	都島工業	B	B	B	Ⅲ
三島	C	B	B	Ⅰ	茨木工科	A	A	A	Ⅲ
桜塚	B	B	B	Ⅰ	園芸	B	A	A	Ⅳ
刀根山	B	B	B	Ⅰ	千里青雲	B	B	B	Ⅰ
箕面	B	B	B	Ⅰ	柴島	B	B	B	Ⅲ
山田	B	B	B	Ⅰ	福井	B	A	A	Ⅳ
北千里	B	B	B	Ⅱ	工芸	B	B	B	Ⅱ
吹田	B	B	B	Ⅱ	箕面東	A	A	A	Ⅲ
吹田東	B	B	B	Ⅱ	淀川清流	A	A	A	Ⅲ
茨木西	B	B	B	Ⅱ	摂津（体育）	B	B	B	Ⅲ

特別選抜

●公立高校入試に必要な自己申告書について

①受験生全員が提出　（A4用紙の両面）
②府教委がテーマを提示
③ボーダーゾーン内の選抜資料となる。
④面接を実施する特別選抜で
　　選抜資料および面接の資料として活用する。

⇩

１４００字前後の文章を書かなくてはいけません

自己申告書のテーマ(昨年度)

　あなたは、中学校等の生活（あるいはこれまでの人生）でどんな経験をし、何を学びましたか。また、それを高等学校でどのように生かしたいと思いますか。できるだけ具体的に記述してください。

アドミッションポリシーとは

各学校の「求める生徒像」
「期待する生徒の姿」のこと！

⇩

各学校のアドミッションポリシーをよく読み、それに合致するような内容で、自己申告書を書くこと！

アドミッションポリシーの例（過去の例）

山田	本校では、生徒個々が何事も主体性を持って仲間と協働して取り組むことで「思考力・判断力・表現力」を養い、将来の夢と志を描き、教養と行動規範を身につけ、自立して社会とかかわり、地域の将来を担う人材を育む教育を実践しています。学校の教育活動を通して、向上心を持ち、自らの可能性を追求し、個性を伸ばして自己実現を図ろうとする生徒を歓迎します。 1）将来の進路実現に向けて、高い目標を掲げて学業に真摯に取り組む生徒 2）目的意識を持って自らの得意分野に取り組み、夢に向かってチャレンジする生徒 3）生徒会活動・学校行事・部活動等に積極的に取り組み、常に自分を高めようとする生徒 4）規則正しい生活ができ、高校生活を前向きに送ろうとする意志を持った生徒

合格者の決定方法

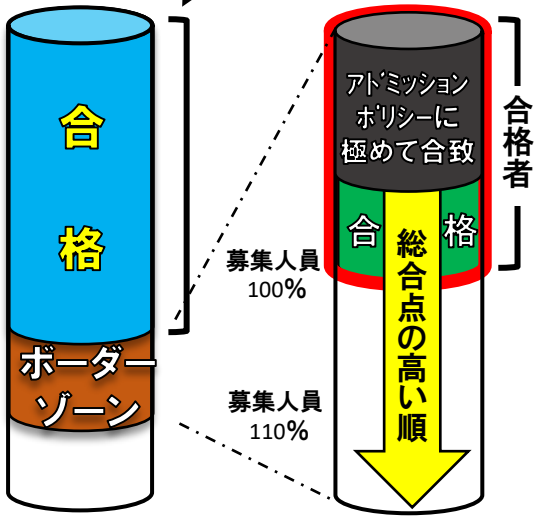
「進路の手びき」
3年・・・P.25
1・2年・・・P.10

◆一般選抜 ・ 特別選抜

（通信制の課程を除く）　（実技検査実施の場合）

＜Step１＞総合点を算出する。

＜Step２＞
総合点の高い者の順に募集人員の110％に相当する者までを(Ⅰ)群とする。



＜Step３＞
(Ⅰ)群の中で総合点の高い者から募集人員の90％に相当する者を合格とする。

(Ⅰ)群の中で合格が決まっていない者を(Ⅱ)群（ボーダーゾーン）とする。

＜Step４＞
ボーダーゾーンの中からは、自己申告書および調査書の「活動/行動の記録」の記載内容がその高校のアドミッションポリシーに極めて合致する者を優先的に合格とする。

＜Step５＞
＜Step3＞による合格者を除き、改めて総合点の高い者から順に並べ、募集人員を満たすよう合格者を決定する。

●資格や検定について

◆<u>入試を受けるにあたって、所持していると有利に働くもの</u>

・**<u>英語関連の検定</u>**…英検・TOEIC・TOEFL・IELTSなど

・学校によっては、漢字検定や数学検定なども利用できる場合があります。

・このような資格や検定が有利に働くケースは大きく分けて次の３通りです。

●資格や検定について

①入学時に金銭的な免除を受けられる（私立）

・入学金免除や授業料半額免除など。

②入試時の加点がもらえる（私立）

・例えば、英検３級所持の場合、筆記テストの結果＋５点、準2級なら＋10点、2級なら＋15点、といった具合です。

③得点保証が受けられる（公立）

・公立高校では、英検などのスコアに応じて、学力検査の結果を読み替えてもらえます。（対象は、英検２級以上）

〈参考〉 学力検査「英語」について

公立高校

「進路の手びき」3年・・・P.32、1・2年・・・P.12

TOEFL iBT	IELTS	英検	読み替え率	最低保障する点数 特別選抜（満点 45 点）	最低保障する点数 一般選抜（満点 90 点）
60 点～120 点	6.0～9.0	準 1 級・1 級	100%	45 点	90 点
50 点～59 点	5.5	（対応無し）	90%	41 点	81 点
40 点～49 点	5.0	2級	80%	36 点	72 点

例1　英検2級を所持。当日のテストは60点でした。
　　ただし、英検2級があるので、最低保障点数は72点
→ したがって、この生徒の成績は**72**点となります。

※第3回目は、3月4日の一斉出願には間に合いません。

青山台中学校の昨年の進路結果

私立高校

受験者　105名（うち専願 26名）

専願率 約24％

受験者数が多い私立高校（昨年度）

Wコースは、注意！

文理学科も併願実施！

早稲田摂陵（26名）・関西大倉（14名）

総合コースの募集なし！

箕面自由学園（8名）・履正社（8名）

大阪学院（6名）・追手門学院（5名）

アサンプション（4名）・　箕面学園（4名）

【他府県受験校】

西大和・洛南・雲雀丘など

公立高校（国立を含まない）

受験者　83名
（特別選抜　7名）
（一般選抜　76名）

合格者　68名
（特別選抜　7名）
（一般選抜　61名）

公立高校
合格率　82%

活用できる補助制度など

国の就学支援金

大阪府の授業料支援補助金

大阪府育英会の奨学金

国の就学支援金

「進路の手びき」
3年・・・P.27

（高等学校等就学支援金制度）

対象は授業料

国公立）年収910万円以下なら、授業料が実質0円

私　立）年収590万円以下なら、39万6,000円支給

「後で給付（=返還）」されます。

一旦は支払う必要があります！ご注意を！

利用のためには、申請が必要です。入学時の４月など必要な時期に学校から案内があるので、必ず手続を行ってください。

府の授業料支援補助金

「進路の手びき」3年・・・P.28

対象は授業料

国の就学支援金とともに、大阪府では、年収に合わせて私立高校および専修学校の授業料の補助金を交付しています。

■**授業料が60万円の場合**

※授業料が60万円を超える学校は、超えた額を負担する必要があります。

年収のめやす	授業料負担額（私立高校など）		
	こども1人世帯	こども2人世帯	こども3人以上の世帯
590万未満	無償（0円）		無償（0円）
800万未満	20万円	10万円	
910万未満	約48万円	30万円	10万円

私立高校で必要な費用

◆入学金…15万～25万円

◆**授業料…60万円前後** ← **無償化の対象**

◆その他…教科書代、制服代、指定品購入費
教材費、通学の交通費などが必要

◆学校によっては、施設費・教育振興費などの名目で費用が必要な場合があります。

これらのお金は最初に必要です！

大阪府育英会の奨学金

「進路の手びき」3年・・・P.29

◎奨学資金

※国公立…およそ年収800万円未満、私立・・・およそ1，000万円未満の世帯が対象

貸与額：授業料実質負担額＋その他教育費10万円

◎入学時増額奨学資金

※年収およそ590万円未満の世帯が対象

貸与額：（国公立学校）5万円以内
（私立学校）　25万円以内

大阪府育英会の奨学金

「進路の手びき」３年・・・P.29

※注意点！

◎無利子ですが返済の義務があります。
（高校を卒業した年の10月から返済。）

◎高校等に進学する前の毎年９月初旬ごろに、
中学３年生等を対象に募集します。

※申し込みが遅れると、貸付できません！

各時期でやるべきことって何ですか？

1学期～夏休み

１・２年の復習を徹底的に！

・説明会、オープンキャンパスに行こう！
（私立３校+公立３校を目途に！）

・いろいろな学校の情報をGETしましょう！

・特に私立の受験を考えている場合は、特色をしっかり見ておきましょう！

※２学期に何回か「進路希望調査」を取ります。

2学期

自分の苦手分野を探して、克服しよう！

・8月と11月に実力テストを実施します。

11月・・・予備懇談。（生徒+教師）

（この時点で、専願か併願かも含めて私立の受験校、
および公立の特別選抜の受験校はほぼ決定。）

・12月・・・三者懇談。
（私立、公立の特別選抜の受験校・最終決定）

3学期

過去問、および今までの復習をしっかりと！

・1月・・・実力テスト③、学年末テスト（成績ほぼ決定。テスト以外は提出物など。）

・2月・・・私立入試、公立・特別選抜入試
三者懇談（公立・一般選抜受験校決定）

・3月・・・公立・一般選抜入試
→ 卒業式　→ 一般選抜の合格発表

●大阪府の入試情報の主な調べ方

◆「大阪府　私立高校　一覧」で検索

◆「大阪私立中学校高等学校連合会」で検索

◆公立高校入試については、大阪府のホームページから知ることができます。

↓

◆「大阪　高校入試」で検索

◆「咲くナビ」で検索

学校の情報

学力

通学時間

部活

制服

修学旅行

進学実績

就職実績

費用

何を基準に決める？

３年間通える？

「保護者だけ」でも「子どもだけ」でもダメ！

進学したものの・・・

　最後にあまり楽しくない話をしますが、高校を途中でやめてしまう人が、少なからずいます。

　２０２１年度は、大阪府で９３７人いました。中退率は、1.5％です。この学年１３０人で計算すると、約２人が中退してしまった計算になります。

■2021年度 中退者

【中退の理由】

・学業面（勉強が面白くない、わからない）・・・・31.1％

・学校生活（人間関係・雰囲気が合わない）・・・42.2％

※それ以外は、病気や経済面など。

そうならないために、いろいろな高校をしっかりと自分の目で確認し、受験するべき高校を見極めてほしいと思います。